

# 特選講師情報

リストNo 12143

2021/01/01

講師派遣の **ブレンバンク** 株式会社

〒530-0055

大阪市北区野崎町6-7大阪北野ビル

TEL:06-6315-7591 FAX:06-6315-0506

担当者：大瀬 恵美

## ●講演会をする場合は

- ①講演時間は、標準90分です。
- ②講演企画料は、源泉税込み(単位万円)です。
- ③講演企画料には、消費税が別途必要です。
- ④実施の場合は、旅費(交通費・宿泊費)が必要です。
- ⑤※印は、旅費2名分が必要です。

## ■講師陣 (敬称略)



講演料：

BEST9

元外務事務次官が当時の経験からの教訓も交えながら日米や世界の情勢を読み解く

### ● 世界に負けない日本

～中国・韓国・北朝鮮～

藪中 三十二

立命館大学客員教授(元外務事務次官)

1948年大阪府生まれ。1969年外務省入省、韓国、インドネシア、米国にて在外公館勤務。87年北米局北米第二課長(日米経済摩擦担当)、90年国際戦略研究所(ロンドン)主任研究員。91年在ジュネーブ国際機関日本政府代表部公使。95年大阪大学特任教授。98年在シカゴ日本国総領事館総領事。02年アジア大洋州局長(六者協議首席代表)。05年外務審議官(経済担当・G8サミット・シェルパ)。07年外務審議官(政務担当)。08年外務事務次官に就任。10年外務省退官。主な著書に『トランプ時代の日米新ルール』『世界に負けない日本』などがある。

- (他のテーマ)
- ・ 緊迫の国際情勢と日本の針路
  - ・ 韓国、北朝鮮、中国—日本外交の課題



講演料：

BEST9

情報通と呼ばれる人が、ネタを仕込みにくる講演会を目指しています

### ● コロナショックに打ち勝つ

吉崎 達彦

双日総合研究所 チーフエコノミスト

1960年富山県生まれ。一橋大学社会学部卒業後、日商岩井(株)に入社。広報誌『レトピア』編集長を経て、米国ブルッキングス研究所客員研究員、経済同友会調査役などを経て、日商岩井とニチメンの合併により'04年より現職。自身のホームページ「溜池通信」にて、米国の政治経済について鋭く分析したレポートを配信。産経新聞「正論」、毎日新聞「ナビゲート」、中央公論「時評2015」などで連載コラムを持つほか、TV東京朝日「モーニングサテライト」コメンテーターなど、テレビ・ラジオでも出演多数。著書に『オバマは世界を救えるか』『世界経済連鎖する危機』などがある。

- (他のテーマ)
- ・ 日本経済の今後と日米関係 ～バイデン新政権下の世界と日本
  - ・ 世界の視点で考える 日本経済のゆくえ



講演料：

BEST9

福島フィフティ 原作者が語る

### ● コロナ襲来の「現実」と未来への「教訓」

門田 隆将

作家・ジャーナリスト

1958年高知県生まれ。中央大学法学部政治学科卒業後、新潮社に入社。週刊新潮時代は、特集班デスクとして18年間にわたって政治、経済、歴史、司法、事件、スポーツなど、さまざまな分野で800本近い特集記事を執筆した。独立後、「毅然と生きた日本人」をテーマに、ノンフィクション作家として次々と話題作を発表。代表作に、司法の病理を抉った『裁判官が日本を滅ぼす』(新潮社)、光市母子殺害事件の9年間を描いた『なぜ君は絶望と闘えたのか—一本村洋の3300日』(新潮社)、『疫病2020』(産経新聞出版)等がある。

- (他のテーマ)
- ・ マニュアルなき事態にリーダーはどうあるべきか
  - ・ 激動の日本とリーダーの本義～その時、リーダーはどう決断したか



講演料：

BEST9

温厚なイメージですが、講演会ではかなり熱弁！ テレビのレギュラー出演は水・土曜日

### ● どうなる日本！政治・経済ここがポイント

橋本 五郎

読売新聞特別編集委員

1946年秋田県生まれ。1970年慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、読売新聞社入社。本社社会部をはじめ政治部、論説委員、政治部長・編集局次長を歴任。1999年から日本テレビ系列「ジバンクあさ6」「ズームイン!!SUPER！」でニュース解説を担当。2006年12月より現職。日本テレビ「スッキリ！」、読売テレビ「ウェークアップ！ぷらす」、情報ライブ「マイネ屋」にレギュラー出演。2014年日本記者クラブ賞受賞。主な著書として「心に響く51の言葉」「総理の覚悟」「総理の器量」「範は歴史にあり」「橋本五郎の『どうなる日本！』—政治・経済ここがポイント」など多数。

- (他のテーマ)
- ・ コロナ禍の政治
  - ・ いま政治に何が求められているか

■ 講師陣 (敬称略)



講演料:

BEST9

ビジネス環境の変化をどう捉え経営に活かすか 日本テレビ系「シューイチ」コメンテーター

● こかれから注目されるビジネスとは

～経営環境・消費動向をどう事業に活かすか～

渋谷 和宏

作家・経済ジャーナリスト

1959年横浜生まれ。84年日経BP社入社。日経ビジネス編集部、日経エンタテインメント編集部、出版局編集を経て、日経ビジネス編集部の副編集長としてのテク業務と並行して、別冊ムック企画を担当。01年から日経ビジネスアソシエ開発を兼務し、02年4月に創刊、編集長に就任。日経ベンチャー、日経エコロジー等、ビジネス局長時に日経ビジネス、日経ビジネスアソシエ等の発行人、統合コンテンツ局長時に日経BPネットの発行人等を務める。14年に独立。執筆、講演や日本テレビ系「シューイチ」コメンテーター、TBSラジオ渋谷和宏・ヒト」パーソナリティー、BS-TBS「まるわかり！日曜 ニュース深堀」メインキャスターとして活躍中。

(他のテーマ) ・ これからのビジネスリーダーのための条件  
・ 日本経済の行方～輝く組織・輝く人とは



講演料:

BEST9

原作がドラマ化 NHKドラマ10「町工場のオンナ」

● 町工場発！女社長の経営改革と人財育成

諏訪 貴子

ダイヤ精機株式会社 代表取締役

1971年東京都大田区生まれ。95年、成蹊大学工学部卒業後、自動車部品メーカーのユニシアジェックス(現・日立オートモティブシステムズ)入社。'04年、父の急逝にともない、32歳の専業主婦からダイヤ精機の2代目社長に就任。その後、10年でダイヤ精機をマスコミ等で度々取り上げられるほどの優良企業に変革させた。新しい社風を構築、堅実な経営を維持している。'08年 経済産業省「IT経営実践企業」に認定。育児と経営を両立させる若手女性経営者として日経BP社Woman of year 2013 大賞(リーダー部門)受賞。著書に「町工場の娘～主婦から社長になった2代目社長の10年戦争」

(他のテーマ) ・ 「町工場の星」に学ぶ～人生を切り開くためのヒント～  
・ 主婦から社長になった2代目の10年戦争



講演料:

BEST9

“夢を叶えるために脳はある” TBSテレビ「新・情報7DAYS」コメンテーター

● 脳を知り 脳を活かす

池谷 裕二

東京大学・薬学部・教授

1970年 静岡県生まれ。98年 東京大学大学院薬学研究科にて薬学博士号取得。専門は大脳生理学。とくに海馬の研究を通じて、脳の健康や老化について探求している。コロンビア大学客員研究員を経て、06年東京大学薬学部講師。07年准教授。14年から現職。脳の研究を一般にわかりやすく紹介する。著書:『単純な脳、複雑な「私」』『進化しすぎた脳—中高生と語る「大脳生理学」の最前線』『海馬—脳は疲れない—』『怖いくらい通じるカタカナ英語の法則』『できない脳ほど自信過剰』『脳には妙なクセがある』『受験脳の作り方』『脳はなにげに不公平』等多数

(他のテーマ) ・ 脳はだまして使え～記憶とやる気の秘密  
・ 人工知能のもたらす未来 ～「人らしさ」とは何か



講演料:

BEST9

中国古典をビジネス戦略から生き方まで、今の自分に学ぶ・活かす

● 今、洪沢栄一に学ぶ

守屋 淳

作家・グロービス経営大学院客員教授

1965年東京生まれ。中国古典第一人者の守屋洋が父。早稲田大学文学部卒業後、大手書店勤務を経て、中国古典、主に『孫子』『論語』『老子』『荘子』『三国志』等の知恵を現代にどう活かすかをテーマに執筆、企業研修・講演を行う。著書『最強の孫子』(日本実業出版社—繁体字と韓国語に翻訳)。中小～上場企業トップや第一線ビジネスマン、キャリア官僚等との勉強会を多数行い、常に最新の知見、情報を取り入れる。単なる古典の解説にとどまらず、時代背景、現代の事例、エピソードを交え、スピード感ある飽きさせない講義に定評。

(他のテーマ) ・ 「論語」と「韓非子」に学ぶ組織論  
・ 『孫子の兵法』とビジネス戦略～「勝ち」より「不敗」を目指しなさい！



講演料:

BEST9

個人、企業、地域それぞれが行うべき災害から命を守るための準備と行動を提言

● 新型コロナウイルス感染症対策 と 危機管理

山村 武彦

防災システム研究所 所長／防災・危機管理アドバイザー

1943年生まれ。新潟地震(1964)を契機に、防災・危機管理アドバイザーを志し、同研究所を設立。世界中で発生する災害の現地調査、研究(250カ所以上)を実施。日本各地での講演(2300回以上)、報道対応、執筆活動を通じた防災意識啓発に取り組む傍ら、企業や大学、自治体などの防災アドバイザー(顧問)として、BCP(事業継続計画)、防災・危機管理マニュアルの策定や改定など、災害に強い企業・街づくりに携わる。実践的な防災・危機管理対策の第一人者。

(他のテーマ) ・ 企業経営者が実践すべき危機管理と防災対策  
・ 企業・組織の実践的防災・BCP

■ 講師陣 (敬称略)



講演料：

グローバル化経済に立ち向かうために  
● withコロナ・afterコロナの日本経済

伊藤 元重

東京大学名誉教授・学習院大学国際社会科学部教授

1951年静岡県生まれ。東京大学経済学部卒業。米国ロチェスター大学にて経済学博士号取得。米国ヒューストン大学助教授、東京都立大学助教授、東京大学助教授、東京大学教授を経て、2016年より現職。税制調査会委員、復興推進委員会委員長、経済財政諮問会議議員、社会保障制度改革推進会議委員、公正取引委員会独占禁止懇話会会長などの要職を務める。著書に『入門経済学』(日本評論社)、『ゼミナール国際経済入門』(日本経済新聞出版社)、『ビジネス・エコノミクス』(日本経済新聞出版社)、『ゼミナール現代経済入門』(日本経済新聞出版社)など多数。

- (他のテーマ) ・ コロナ禍と日本経済  
・ ポストコロナを世界経済から読み解く



講演料：

斬新な切り口で日本外交を戦略的な視点から分析  
● 最新の国際情勢と日本経済に与える影響

宮家 邦彦

外交政策研究所代表・立命館大学客員教授

1953年神奈川県生まれ。1978年東京大学法学部を卒業後、外務省入省。76～77年米シネガト大学、台湾師範大学、79年カピラ・アムリカ大学、81年米ジョージタウン大学で語学研修。82年7月在イラク大使館二等書記官、86年5月外務大臣秘書官、91年10月在米国大使館一等書記官、98年1月中近東第一課長、同年8月米安全保障条約課長、2000年9月在中国大使館公使、04年1月在イラク大使館公使、イラクCPA出向、04年7月中東アフリカ局参事官などを歴任。05年8月外務省を退職し、現職。立命館大学客員教授、キャングローバル戦略研究所研究主幹。

- (他のテーマ) ・ 激動する国際情勢と日本の課題  
・ 地政学と日本の大戦略 コロナで変わったこと、変わらなかったこと



講演料：

東大首席→財務省→弁護士の10年間で経験し学んだことからの提言

● 世界の潮流 日本の選択  
～アフターコロナの日本～

山口 真由

信州大学特任准教授・ニューヨーク州弁護士

1983年札幌市出身。筑波大学附属高校進学を機に単身上京。東京大学法学部に進み、3年次に司法試験、翌年には国家公務員1種<現:国家公務員(総合職)>合格。また、学業と並行して、男子テニス部のマネージャーも務める。在学中4年間を通じて“オール優”で、4年次には「法学部における成績優秀者」として総長賞受け、首席で卒業。同年財務省に入省し、主税局に配属。主に国際課税を含む租税政策に従事。2008年に財務省退官し、弁護士登録。現在は主に、企業法務を担当する弁護士として活動するかたわら、テレビ番組や執筆等でも活躍中。

- (他のテーマ) ・ 岐路に立つ日本～「保守」か「リベラル」か…今後進むべき進路の選択  
・ コンプライアンスのすすめ ～国際的潮流と今後求められる意識改革



講演料：

毎日TV「ちちんぷいぷい」「Voice」読売TVの「あさパラ！」などテレビ出演中  
● 人生100年時代にどう備える！？～暮らしとお金はどう変わるのか

中野 雅至

神戸学院大学 教授

1964年奈良県生まれ。同志社大学卒業。大和郡山市役所を経て、90年旧労働省入省。94年人事院長期在外研究員制度でシガン大学へ留学(公共政策修士)。労働省大臣官房国際課、労働省職業安定局高齢・障害者対策部企画課、厚生省生活衛生局指導課、その後、新潟県総合政策部情報政策課長、厚生労働省大臣官房国際課課長補佐を務める。03年新潟大学大学院現代社会文化研究科(博士後期課程)(経済学博士)。04年に公募で兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科助教授に就任。11年教授。14年より神戸学院大学現代社会学部教授。

- (他のテーマ) ・ 元気な高齢者のためのやさしい経済学～貧困老人にならないために  
・ コロナで労働市場は激変するか？



講演料：

現代社会の光と影に注目し常識のウリに鋭く切れ込む「ハゲタカ」の著者として知られる小説家  
● これからのビジネス・経済 ～ウィズコロナでどう変わるのか

真山 仁

小説家

1962年大阪府生まれ。同志社大学卒、新聞記者、フリーライターを経て2004年『ハゲタカ』でデビュー。2007年『ハゲタカ』『ハゲタカII』を原作とするNHK土曜ドラマが放映され話題になる。2018年、テレビ朝日で再度ドラマ化。「ハゲタカ」シリーズのほか、日本の食と農業に斬り込んだ『黙示』、被災地の小学校を舞台にした連作短編集『そして、星の輝く夜がくる』『海は見えるか』、カンゾと地方再生をテーマにした『バラ色の未来』。東京地検特捜部の富永検事シリーズ『売国』『標的』、選挙の裏側にスポットを当てた『当確師』、日本の財政破綻問題に斬り込んだ『オペレーションZ』など著書多数。NHK「ルソンの壺」レギュラー出演(2017～'19年)

- (他のテーマ) ・ 真山仁の時代を読む  
・ お金は人を幸せにするのか？ ～強欲は善か悪か

## ■ 講師陣 (敬称略)



講演料：

### 「iモード」立ち上げプロジェクトメンバー

#### ● 激変するデジタル社会と日本の未来

#### 夏野 剛

慶應義塾大学 政策・メディア研究科 特別招聘教授

1988年早稲田大学卒、東京ガス入社。95年ペンシルベニア大学経営大学院(ウォートン)卒。ベンチャー企業副社長を経て、97年NTTドコモ入社。99年に「iモード」、その後「おサイフケータイ」などの多くのサービスを立ち上げた。2005年執行役員、08年にドコモ退社。現在は慶應義塾大学政策メディア研究科特別招聘教授のほか、ダウンゴ、セガサミー、トランスコスモスなどの取締役を兼任。2001年ビジネスウィーク誌にて世界のeビジネスリーダー25人の一人に選ばれる。

(他のテーマ) ・ アフターコロナの日本企業の未来



講演料：

### 人も企業も付加価値で勝負の時代です

#### ● 営業力強化セミナー コロナ禍時代の営業メソッド！

#### 朝倉 千恵子

(株)新規開拓 代表取締役社長

1962年大阪府貝塚市生まれ。小学校教師、税理士事務所、証券ファイナンス会社などの勤務を経て、1997年2月、トップセールスになることを決意して、社員教育研究所に入社。2000年度年間売上No. 1。トップセールス賞を受賞。2001年6月より、朝倉千恵子事務所代表。営業・教育コンサルタントとして全国を飛び回り、生保をはじめ様々な企業に対する社員研修、セールス指導、講演等で活躍、年齢・性別を問わず高い評価を受けている。

(他のテーマ) ・ これからの時代の営業のあり方～Zoom時代のリモート営業を学ぶ  
・ お客様との信頼と親愛の絆(ラポール)を築くコツ



講演料：

### 選手のどうでも良い？(笑)プライベートまで切り込む駅伝解説が話題！

#### ● 自分という人生の長距離ランナー

#### 増田 明美

スポーツジャーナリスト・大阪芸術大学教授

1964年千葉県いすみ市生まれ。成田高校在学中、長距離種目で次々に日本記録を樹立する。1984年のロス五輪に出場。92年に引退するまでの13年間に日本最高記録12回、世界最高記録2回更新という記録を残す。2001年から10年間、文部科学省中央教育審議会委員を務める。全国高等学校体育連盟理事、日本陸上競技連盟評議員、日本障がい者スポーツ協会評議員。

(他のテーマ) ・ 二本の脚は二人の主治医  
・ スポーツと地域と人づくりと



講演料：

### 幸せのものさし

#### ● 人生の歩き方 ～僕が居場所を見つけるまで

#### 宮本 亜門

演出家

1958年東京都生まれ。出演者、振付師を経て、2年間ロンドン、ニューヨークに留学。帰国後の'87年にはオリジナルミュージカル「アイ・ガット・マーマン」で演出家として本格的にデビュー。翌88年には、同作品で「昭和63年度文化庁芸術祭賞」を受賞。ミュージカルのみならず、ストリートプレイ、オペラ等、現在最も注目される演出家として、活動の場を広げている。'04年秋には、ニューヨークのオンブロードウェイにて「太平洋序曲」を東洋人初の演出家として手がけ、'05年同作はトニー賞の4部門でバネートされる。'08年2月にはワシントンのジャパン・フェスティバルで「UP IN THE AIR」を発表した。

(他のテーマ) ・ がん体験は命の勲章  
・ 私の原点



講演料：

### 人情味あふれるキャラクターで幅広い年齢層に親しまれ、『突撃！隣の晩ごはん』でおなじみ

#### ● 元気と笑いのある人生

#### ヨネスケ (桂 米助)

落語家

'48年生まれ、千葉県市原市出身。高校卒業後、桂米丸氏に弟子入り。内弟子として噺はもちろんのこと、箸の上げ下げから礼儀を仕込まれる。'67年浅草演芸ホールでデビュー。'71年4月二つ目昇進。この頃「笑点(日本テレビ)」の前座をつとめ「日曜招待席」で大喜利のメンバーになる。'81年10月真打ち昇進。'82年1月放送演芸大賞ホープ賞受賞。'89年1月より古館プロジェクトに所属。現在、社団法人落語芸術協会理事を務める。寄席も数多く、講演会やトークショーも全国各所で行っており、今後もジャンルを越えた大いなる活躍が期待される。

(他のテーマ) ・ 旅の味 人生の味～たゆまぬ努力が味がだす  
・ 健康長寿は食卓と笑いから